

# 企業に勤める醍醐味:1つ目標に向かって進み成し遂げること

和田玲子 (旭化成株式会社 知的財産部)

## 仕事の内容とおもしろいところについて

化学メーカーの知財部に在籍し、知的財産(知財)の面から事業の支援をしています。具体的には、研究者や営業部員から知財に関わる相談を受け、特許出願や中間手続きを行っています。

研究者が、「面白い結果が出たよ」とうれしそうに話しかけてくれるのを聞き、事業戦略を踏まえてどのように権利化を目指すかを考えるのは夢が広がって楽しい瞬間です。知財部の仕事は、事業と知財権との橋渡し役としてとてもやりがいがあると感じています。

## 私の進路決定のきっかけ

中学のとき、酢酸の分子式を見てその簡潔さに感動し、化学分野に進もうと思いました。大学院での研究も面白かったのですが、実際に産業で使われているモノを作りたいと思い、企業に就職しました。就職後、数年間は製品のグレード開発に携わっていたのですが、子供が生まれた後は、時間的な制約があっても仕事を続けられるよう、現在の職場に異動しました。

## 仕事と家庭のバランスについて

「家庭」では私は障害児の母です。しかもとても重症の障害児で、母親が仕事(正社員でフルタイム)を続けるのは無理だ(前例がない)と回りに言われ続けていますが、意外?にも仕事も何とか回っています。というか、「家庭」での数々の経験が、「仕事」にも活かしてくるのです。

以前、私は、「仕事」も「家庭」も、ものすごく頑張るぞ!と意気込んでいましたが、最近は、私にとって、その両者はお互いになくはならない車の両輪みたいなものだ、ととらえるようになりました。そう考えるだけで、だいぶ肩に入っていた力が抜けました。そして、そんな環境の人が働くことが、よりよい「社会」を作ることにつながって行くと思うのです。

## 進路選択についてのメッセージ

私は、就職先として一般企業を選びました。企業では、指揮系統によって与えられた仕事だけを行うようなイメージがあるかもしれませんが、そうでもありません。いろいろな考えや立場の人がそれぞれの役割が何かを考え、ある一つの目標に向かって進んで行って何かを成し遂げることができるのが、企業に勤める醍醐味だと思います。

### <和田玲子(わだれいこ)プロフィール>

県立高校 → 大阪府立大学工学部応用化学科 → 東京工業大学大学院総合理工学研究科(修士課程) → 旭化成(株)勤務(入社3年目に第1子・5年目に第2子出産(3年半連続で産休・育休取得))